

布佐中学校だより 11月号



我孫子市立布佐中学校 令和元年11月1日発行
我孫子市布佐 1301 ☎7189-2426 fax7189-2421



励まし支え合う仲間……共に成長し合える布佐中生

ラグビーワールドカップが日本で開催され、私も日本チームの大活躍にテレビの前で大きな声援をあげました。「One for All, All for One」、ひとりはおみんなのために、みんなはひとりのために……ノースサイドの笛が鳴り終わったあとの両チーム選手のお互いに健闘を讃えあう姿、全力を出し切り、精一杯闘い切ったあとの選手の皆さんの姿を見ていると、テレビで観ているだけの私にも、何故だか何とも言えない清々しい充実感や達成感が伝わってきます。そして、想像を超えるであろう選手の皆さんの今までの過酷な練習や人知れず行われていた努力に対して尊敬というか称賛というのか、ただただ頑張っている選手の皆さんに拍手をおくっていました。

同じような気持ちになった場面が布佐中でもありました。それは、東葛駅伝大会の数日前、校庭で選手の最終選考が行われた場面でした。駅伝選手たちが最終選考レースのスタートの号砲がいよいよ鳴るといふ時に、帰りの会を終えた各クラスの生徒の皆さんが校庭のトラックを囲みました。そして、走り始めた選手たちに大きな声援を



(校庭での応援風景)

かけ始めました。勢いよく先頭集団を走る選手たち、少しずつ後方にさがっていく選手、時間の経過とともに選手たちの列は長くなっていきましたが、応援の生徒の皆さんの声はどんどんと大きくなっていきました。自分のクラスの選手だけでなく、目の前を走る全ての選手たちに精一杯の声援をする生徒たち、最後の選手がゴールするまで大きな声援は続き、ゴール後選手たちは応援に対して「ありがとうございました」と感謝の気持ちを表し、大きな声を合わせて「おつかれさま」と返す生徒……何とも言えない清々しさを感じました。努力が実らず悔しい思いをした選手もいたことでしょう、本番にむけて一層闘志をもやした選手もいたでしょう、そんな選手たちを陰ながら応援する仲間たちは、選手たちの必死になって力走する姿を見ながら、目の前を必死な表情で走り抜けていく選手たちの様々な思いを想像し、仲間から学び、仲間を思いやる気持ちが、「おつかれさま」の言葉には込められていたように感じました。

10月19日第73回東葛飾地方中学校駅伝大会が行われました。全校応援のもと、布佐中選手の皆さんは大変健闘し、第46位となりました。これは、仲間と共に支え合い、励まし合いながら、一人ひとりの選手たちが、自分の力の限り頑張った結果です。10区10人の



(10区嶋崎選手) (1区遠藤選手)

選手の皆さんは、多くのサポートや応援してくれた人たちの熱い思いを感じ、皆の期待と学校の代表としての誇りを胸に抱きながら全力で走ってくれました。ご協力、ご支援いただきました多くの保護者、地域の皆様、本当にありがとうございました。応援生徒の皆さんも本当にお疲れ様でした。いよいよ2学期も後半に入ります。1年生は上野での校外学習がありました。2年生は就職体験を終えました。3年生はいよいよ具体的な進路選択に向けた三者面談、1、2年生も教育相談中です。学級としての取り組みだけでなく、一人ひとりの生徒の皆さんが、授業への取り組みや家庭学習などの取り組みについて、また、部活動や係活動、そして友人たちや家族の皆さんとの関わりなど、深まる秋と共に2学期の折り返しのこの時期にひと息ついて、自分の頭で考えて、じっくりと振り返る時間も必要と思っています。

(校長 小林浩之)

○卒業生から学ぶ…チャレンジしてほしい…

9月20日の布佐タイム(総合的な学習の時間)のグローバルピース講座にゲスト講師として、本校卒業生で大学卒業後、アフリカでの国際協力の現場を経験し、現在も農機大手の会社でミャンマーなど東南アジアを中心に活躍されている田中 昌さんに授業をしていただきました。国際協力機構の青年海外協力隊員として、上下水道の普及 事業などに携わり、アフリカ・セネガルの文化や習慣、体験談等のお話がありました。海外で生活して働く魅力や国際化の時代に生きる生徒たちにチャレンジ精神や国際協力、人としての生き方など大変興味深い、示唆に富むお話を聞くことができました。「先輩が海外で活躍していることを聞き、自分にもチャンスがあるんだと自信になった。」という受講生徒からの感想もありました。



(授業風景)



(毎日新聞の記事)

○3年生面接が始まりました…大切なのは日頃のとりくみ…

昼休みと放課後を使い、3年生の校長面接を実施しています。これは高校や専門学校、就職のための面接試験対策を目的としています。一人10分～15分で将来の夢や進路希望、進路希望の理由や自分の長所や短所最近読んだ本や気になるニュース、中学で印象に残る出来事や部活で学んだ事等々、矢継ぎ早に面接官役からの質問に答えます。3年生のみなさんは、学級での練習の成果もあり大変真面目で真剣に取り組んでいます。予想もしない質問に戸惑う場面も見られますが、それぞれ人柄がうかがわれような一語一語自分の頭で考えて簡潔に分かりやすく答えようと頑張っています。「いざは普段なり」1日1日を大切に過ごしてもらいたいです。

○2年生就職体験を行いました

10月23日(水)～25日(金)の3日間に布佐地区はじめ市内の職場、事業所の方々のご協力のお陰で無事実施することができました。これは「キャリア教育」の一環として行われ、単なる進学指導ではなく自分の良さを知り、自分の興味や関心に基づいた勤労観や職業観づくり、そして自分自身の生き方や現実的な進路選択に向けての力を養う大切な取り組みとなります。本校では、今年も「校内ハローワーク」を設置し、事前に協力事業(消防署での体験風景)所からの求人票の掲示、掲示された求人票への各生徒からの応募、職員による応募の際の面接、就職体験先の決定という手順を経て当日の体験を迎えています。事前の各職場、事業所さんへの挨拶の折にも、「布佐中生は皆、真面目で真剣に取り組んでくれるから歓迎しますよ。」と言っていた場面もありました。関係の皆様、ご協力本当にありがとうございました。



【ぜひご来校下さい…保護者・地域の皆様の参観お願い致します…】

1年間の学習の成果を発表する機会として保護者・地域の皆様にもぜひご覧いただきたいと思ひます。当日は受付を通り自由にご覧ください。よろしくお願ひ致します。

◆11月21日(木) 合唱祭 ・場所 印西市文化ホール
10:15～ 1.2年生の部 12:45～特設合唱

◆11月30日(土) 文化活動発表会 布佐中
9:00～開会式・体育館 13:10～各教室
(詳しくは別紙案内をご覧ください)

○11月・12月の主な行事予定

日 曜		1 1 月	日 曜		1 2 月
1	金	我教研のため完全下校12:05 給食なし ノー部活	1	日	郷土芸能祭参加(布佐タイム・郷土芸能)
3	日	布佐平和台祭(吹奏楽部・特設合唱団・郷土芸能)	2	月	代休(11/30文化活動発表会)
4	月	振替休日 部活動停止期間～8日朝	5	木	委員会Ⅰ
6	水	月曜日課	6	金	研究授業 ノー部活デー
7	木	定期テスト(英・理・社)	9	月	教育ミニ集会(体育館) ノー部活デー
8	金	定期テスト(国・数・家) 金6	11	水	授業参観・保護者会
9	土	布佐連合自治会避難訓練会場(体育館・校庭)	12	木	委員会Ⅱ
15	金	布佐タイム⑦	19	木	ノー部活デー
16	土	布佐小音楽フェスタ(特設合唱団)	23	月	終業式
21	木	合唱祭(保護者・地域の方々ご参観下さい) ノー部活			
22	金	東葛飾駅伝大会代休	1月		
27	水	6年生登校日	7	火	始業式・避難訓練(不審者対応)
28	木	ノー部活デー			例年、冬休みに行われていた布佐中区小中学校書初大会
29	金	布佐タイム⑧			については、各小中学校での書初行事、授業の充実を図ること
30	土	文化活動発表会(保護者・地域の方々ご参観下さい)			で実施しないこととなりましたのでご了承願ひます。

令和元年度全国学力・学習状況調査の結果と分析、今後の取組について

本年4月、中学校3年生を対象に実施された「全国学力・学習状況調査」の本校の結果の概要についてお知らせします。布佐中学校では、結果から分かる、子どもたちの「強み」「弱み」等の傾向をとらえ、具体的な学習指導等の取り組みに反映していきたいと考えます。つきましては、保護者、地域の皆様には、家庭生活・習慣、家庭学習などのふり返り、見直しに向けたご協力を続けてお願い致します。なお、この調査は学力の特定の一部をはかるものであり、学力のすべてをはかるものではないことをご理解願います。

1 学力・学習状況調査結果

全国学力・学習状況調査について・・・

昨年度まで、A問題(主として「知識」に関する問題)とB問題(「活用」に関する問題)に分けて実施されていましたが、本年度からは統合して実施されています。

◇全体の傾向

国語・・・全体的には、全国・県平均に及ばず、正答率については昨年度をやや下回っている。特に「話すこと・聞くこと」について課題が見られる。

数学・・・全体的には、全国・県平均に及ばず、正答率も昨年度を下回っている。特に「関数」「図形」について課題が見られる。

英語・・・全体的には、全国・県平均に及ばないが、情報を正確に聞き取ることのできる生徒の割合がやや多いが、「書くこと」に課題が見られる。

◇布佐中生の「強み」○と「弱み」△

国語
○書いた文章を読み返し、論の展開にふさわしい語句や文の使い方を理解できる生徒が多い
○語の一部を省いた表現について、話や文章の中での適切な仕方を理解している生徒が多い
△無解答率(特に封筒の名前や住所の書き方や短歌を一首選び感じたことや考えたことを書く)が問題により高い。
△話し合いの話題や方向を捉えて自分の考えを書く力に課題があり、やや無解答率も高い。

数学
○2枚の10円硬貨を同時に投げるとき、2枚とも表が出る確率などを求めることができる生徒が多い。
○平行移動や数の集合と四則計算の問題については無解答率が低い。
△反比例の表から、 X と Y の関数を式で表すことができる力に課題がある。
△連立二元一次方程式($y=-2X+1$ $y=X-5$)を解くことに課題がある。
△証明で用いられている三角形の合同条件を書く力に課題がある。

英語
○日常的な話題について、情報を正確に聞き取る力を持っている生徒の割合が多い。
○教室で使われている英語を理解して、情報を正確に理解できる生徒の割合が多い。
○日常的な話題について、簡単な文で書かれたものの内容を、正確に読み取ることのできる生の割合が多い。
△3人称単数現在時制の肯定文を書くことについての無解答率が多い。
△与えられた情報に基づいて、3人称単数現在時制の肯定文や否定文を正確に書く力に課題がある。
△書かれた内容(食糧問題について)に対して、自分の考えを示すことができるよう、その内容に対する自分の意見をかく力に課題があり、無解答率も高い。

2 児童生徒質問紙による生活調査結果

①将来の夢や目標を持っていますか? ◆当てはまる・・・布佐中 62.0% 全国 44.9%

「どちらかと言えば当てはまる」をいれると、全国 70.5%にたいして、83.1%と非常に高い割合で将来の夢や目標をもっている生徒の割合が多い。小学校からの一貫したキャリア教育の充実をさらにすすめていき、学習意欲の向上につなげていきたいと思えます。

②学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか? (学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間も含む)

◆	ア3時間以上	イ2～3時間	ウ1～2時間	エ30分～1時間	オ30分以下	カ全くしない
布佐中	7.0%	22.5%	32.4%	26.8%	8.5%	2.8%
全国	9.9%	25.6%	34.3%	17.2%	8.4%	4.4%

1時間以下という生徒が全国 30.0%に対して、布佐中は 38.1%となっており、日頃の家庭学習については質と時間という両面で考える必要があると思われるが、相対的な時間はやや少なく課題となっています。

③地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか?

◆当てはまる+どちらかといえば当てはまる⇒布佐中 53.5% 全国 39.4%

布佐中区小中学校3校で取り組んでいる「ふさカリキュラム」の学習はじめ、地域で子どもを育てるという取り組みの成果の一端がうかがわれます。

④学校の授業時間以外に、普段、1日あたりどのくらいの時間、読書をしますか?(教科書参考書、漫画や雑誌は除く)

◆	ア2時間以上	イ1～2時間	ウ30分～1時間	エ10分～30分	オ10分以下	カ全くしない
布佐中	4.2%	4.2%	12.7%	19.7%	16.9%	42.3%
全国	4.8%	7.6%	14.6%	23.4%	14.8%	34.8%

日頃、まったく本を読まない生徒の割合が高く、学校図書室の活用の推進という研究に取り組んでいる本校としては、大きな課題となっています。授業以外、家庭や休み時間に図書室に行って本を読むことや図書委員会などの係活動などで読書の推進を図るとともに小学校、家庭との連携も図る必要があると思われます。

3 学力・学習状況調査結果より「弱み」を改善するための対策

- ・「活動と協同のある授業」をテーマに校内研修に取り組んでいますが、毎時間のめあてやねらいの振り返りを自分の言葉で考えて書くなどの時間を確保し、授業改善を更に進めていきます。
- ・必要に応じて個別の支援計画や指導計画などを作成し、個々の生徒に応じた合理的配慮の充実を図っていきます。
- ・グループ学習による「学び合い」をすすめているが、学力向上に向けた学習規律や生活習慣、家庭学習の充実など、引き続き布佐中区小中一貫教育の推進と充実をすすめていきます。

・地域学校協働活動・・・東葛飾地方管内小中学校コーディネーター研修会から・・・

10月7日(月)本校多目的ホールにて布佐中小中3校コーディネーター・ボランティアの皆様による実践発表がありました。小中で取り組んでいる「ふさカリキュラム」(総合的な学習の時間の我孫子・布佐の歴史や文化を学ぶ郷土学習)や地域との連携による「地域ルーム」や図書や学習支援ボランティアの方々の取り組み、実践発表がありました。その中でも、特に注目されたのは、地域の方々が地域の子どもの学び、学習習慣づくりのために実践している「ふさ子ども学習室」の取り組みです。我孫子市の学習支援員登録をしている17名による学習指導と30名の見守りスタッフの皆さんが布佐地区を中心に中学校の木曜日ノ一部活デー(原則)の放課後に家庭学習の習慣づくりを目的としたこの取り組みは、東葛地区内でも例がなく、文字通り「地域ぐるみで子どもたちを育てる」取り組みとして先進的な事例となっています。全国学テの結果だけでなく、学校・家庭・地域の連携がこれからも充実、継続されていきますようご協力をお願いいたします。

